

強固な組織基盤

役員紹介 (2020年6月23日現在)

取締役		小川 広通 取締役会長 取締役会議長 指名諮問委員会委員長(議長) 報酬諮問委員会委員長(議長) ガバナンス委員会委員長(議長) 伊藤ハム(株) 取締役 米久(株) 取締役 取締役会出席状況 13回/13回(100%)	食品産業の分野で豊富な職務経験を有し、2017年6月に取締役会長に就任しました。 取締役会や各種委員会の議長として、取締役会の実効性向上の仕組みづくりの中心的役割を担うなど、当社グループのガバナンス体制強化を推進しております。
		宮下 功 代表取締役社長 伊藤ハム(株) 取締役 米久(株) 取締役 取締役会出席状況 13回/13回(100%)	食肉事業で豊富な職務経験を有し、米久(株)では社長を務め、2016年4月に代表取締役社長に就任しました。 企業経営者としての幅広い見識と豊富な経験を有し、統合後の業務執行体制の構築に取り組み、効率的及び機動的な経営を推進するなど、当社グループ全体を牽引しております。
		柴山 育朗 代表取締役副社長 品質保証担当 グループ生産事業・R&D担当 伊藤ハム(株) 代表取締役社長 米久(株) 取締役 取締役会出席状況 13回/13回(100%)	伊藤ハム(株)の加工食品事業・生産部門で豊富な職務経験を有し、2016年4月に代表取締役副社長に就任しました。 当社グループの生産事業、R&D分野及び品質保証体制を統括する責任を担っており、また、伊藤ハム(株)の社長として、同グループの事業運営を推進しております。
		堀内 朗久 取締役常務執行役員 米久(株) 代表取締役社長 兼 営業本部長 取締役会出席状況 13回/13回(100%)	米久(株)の加工食品事業・営業部門で豊富な職務経験を有し、2018年6月に取締役に就任しました。 当社グループの加工食品事業を牽引する役割を担っており、また、米久(株)の社長として、同グループの事業運営を推進しております。
		伊藤 勝弘 取締役常務執行役員 コーポレート担当(経理財務・総務・人事) コンプライアンス担当 伊藤ハム(株) 専務取締役 管理本部長 取締役会出席状況 10回/10回(100%)	財務・会計・経理・経営企画等で豊富な職務経験や海外事業の社長としての経歴を有し、2019年6月に取締役に就任しました。 コーポレート部門及び当社グループのコンプライアンス推進を統括する責任を担っております。
		米田 雅行 取締役執行役員 伊藤ハム(株) 常務取締役 加工食品事業本部長 取締役会出席状況 12回/13回(92.3%)	伊藤ハム(株)の加工食品事業・営業部門で豊富な職務経験を有し、2017年6月に取締役に就任しました。 当社グループの加工食品事業を牽引する中心的な役割を担っております。
		小山 剛 取締役執行役員 社長室長 兼 経営企画室長 (2020年8月より、グループ海外加工食品事業担当及びABC事業推進室長を兼任しております。) 取締役会出席状況 —(—%)	食料事業や海外事業で豊富な職務経験を有し、2020年6月23日に取締役に就任しました。 当社グループの事業戦略や中期経営計画策定の中心的役割、リスク管理体制の構築、海外加工食品事業を推進する役割を担っております。
社外取締役		市毛 由美子 社外取締役 独立役員 指名諮問委員会委員 報酬諮問委員会委員 ガバナンス委員会委員 【重要な兼職の状況】 (株)スシローグローバルホールディングス 社外取締役 アスクル(株) 社外取締役 取締役会出席状況 13回/13回(100%)	2018年6月より、社外取締役に務めています。 取締役会では、弁護士としての企業法務全般に関する専門知識、上場企業の社外役員としての見識・経験等により、客観的・専門的な意見・提言等を行っております。
		伊藤 綾 社外取締役 独立役員 指名諮問委員会委員 報酬諮問委員会委員 ガバナンス委員会委員 【重要な兼職の状況】 (株)リクルートホールディングス サステナビリティ推進グループ パートナー (株)イー・ウーマン 社外取締役 取締役会出席状況 13回/13回(100%)	2018年6月より、社外取締役に務めています。 取締役会では、サステナビリティ推進の専門知識、これまでの職歴による見識・経験等により、客観的・専門的な意見・提言等を行っております。

監査役



土屋 昌樹

常勤監査役
伊藤ハム(株) 監査役
米久(株) 監査役

取締役会出席状況
13回/13回(100%)
監査役会出席状況
11回/11回(100%)

2018年6月より、常勤監査役を務めています。飲食業界における企業経営者としての豊富な経験、CSRに関する見識等を有しております。取締役会では、意思決定の適法性・妥当性を確保するために必要な発言を適宜行っております。監査役会では、監査方針・監査計画に基づき、取締役の職務執行を監査する活動を行っております。



松崎 義郎

常勤監査役
伊藤ハム(株) 監査役
米久(株) 監査役

取締役会出席状況
—(—%)
監査役会出席状況
—(—%)

当社執行役員及び当社グループ人事部門の責任者としての職歴による見識・経験等を有しております。2020年6月23日より、常勤監査役を務めています。



市川 一郎

社外監査役
独立役員
【重要な兼職の状況】
SWEAT CAPITAL(株) 代表取締役
(株)ユニメディア 社外監査役
(株)インフォバーングループ本社 社外監査役

取締役会出席状況
10回/10回(100%)
監査役会出席状況
9回/9回(100%)

2019年6月より、社外監査役を務めています。公認会計士としての財務・会計面での専門知識・経験等を有しております。取締役会では、意思決定の適法性・妥当性を確保するために必要な発言を適宜行っております。監査役会では、監査方針・監査計画に基づき、取締役の職務執行を監査する活動を行っております。



梅林 啓

社外監査役
独立役員

取締役会出席状況
—(—%)
監査役会出席状況
—(—%)

弁護士としての企業法務全般に関する専門知識、危機管理分野における専門知識・経験等を有しております。2020年6月23日より、社外監査役を務めています。

執行役員

御園生 一彦	専務執行役員	伊藤ハム(株) 専務取締役	ANZCO FOODS LTD. Executive Chairman
伊藤 功一	上席執行役員	グループ食肉事業担当	伊藤ハム(株) 取締役 食肉事業本部長
福西 毅	上席執行役員	米久(株) 常務取締役	生産本部長
曾根 正明	上席執行役員	グループR&D責任者	中央研究所担当
石松 嘉幸	上席執行役員	グループ生産事業責任者	購買部担当 伊藤ハム(株) 加工食品事業本部 生産本部長
牛丸 友幸	上席執行役員	伊藤ハム(株) 加工食品事業本部 営業本部長	伊藤ハム販売(株) 代表取締役社長
市川 博久	執行役員	グループ物流担当	物流統括部長 アイエイチロジスティクスサービス(株) 代表取締役社長
海和 俊雄	執行役員	米久(株) 営業本部	副本部長
大月 隆二	執行役員	伊藤ハム(株) 食肉事業本部	海外食肉本部長
岩間 定樹	執行役員	品質保証部長	
春名 公喜	執行役員	伊藤ハム(株) 加工食品事業本部	事業戦略統括部長 兼 マーケティング部長
陶 慎陽	執行役員	伊藤ハム(株) 食肉事業本部	国内食肉本部長
金森 史浩	執行役員	(有)キロサ肉畜生産センター	(出向)
野澤 克己	執行役員	米久(株) 常務取締役	管理本部長
堀内 慎二	執行役員	米久かがやき(株) 代表取締役社長	
野口 英俊	執行役員	米久デリカフーズ(株) 代表取締役社長	
玉井 広之	執行役員	米久(株) 加工品事業部長	マーケティングユニットマネージャー 兼 販売促進課長
吉野 裕彦	執行役員	米久(株) 食肉事業部長	

強固な組織基盤

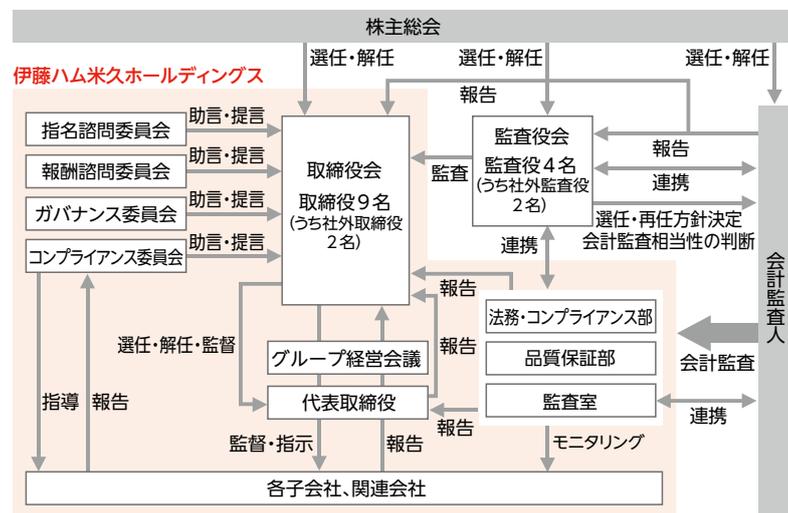
コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社におけるコーポレート・ガバナンスとは、「グループ理念」「ビジョン」「行動指針」に基づき、企業として社会的責任（CSR）を十分に果たすために、また、すべてのステークホルダーから信頼を得るために、当社グループ全体に監督・監視など内部統制機能を充実させた経営組織体制を整備し、的確な経営の意思決定とスピーディな業務執行を行うことをいいます。

当社は、この基本的な考え方に基づき、コーポレート・ガバナンス基本方針を制定し、中長期的な企業価値向上のために、コーポレート・ガバナンスを確実に実現し、透明性の高い経営を目指しております。

■コーポレート・ガバナンス体制図（2020年6月23日現在）



コーポレート・ガバナンス体制強化の取り組み

2016年	持株会社体制 伊藤ハム(株)と米久(株)の経営統合により、持株会社である当社を設立
	独立社外取締役2名体制
	女性取締役1名
	指名諮問委員会の設置
	報酬諮問委員会の設置
2017年	業績連動報酬の導入
	コーポレート・ガバナンス基本方針の制定
2018年	政策保有株式管理ガイドラインの制定
	グループ理念 ビジョン 行動指針の制定*
	執行役員制度の導入*
	コンプライアンス委員会の設置*
	女性取締役2名
	ガバナンス委員会の設置
	経営人材育成方針の制定
取締役会実効性評価の開始	
2020年	コーポレート・ガバナンス基本方針の改定
	政策保有株式管理ガイドラインの改定
	独立社外役員会議の設置

※伊藤ハムグループ、米久グループ、各々にて整備されていたものを、当社グループとして整備

取締役会

月1回の定例取締役会のほか、必要に応じて臨時取締役会を開催しております。
経営上の重要な事項に関する意思決定や方針決定及び業務執行状況の監督を行っております。

指名諮問委員会

取締役、監査役、執行役員候補者決定プロセスの透明性及び客観性を確保するため設置しております。

取締役会の諮問機関として、右記の事項について審議し、取締役会に助言・提言を行っております。

- ① 当社、伊藤ハム株式会社、米久株式会社（以下、本項目において当社グループという。）の取締役、監査役、執行役員の選任及び解任に関する事項
- ② 当社グループの取締役、監査役、執行役員の選任及び解任に関する基本方針、規則及び手続等の制定、変更、廃止に関する事項
- ③ その他、取締役候補者、監査役候補者の選任及び取締役、監査役の解任に関して指名諮問委員会が必要と認めた事項

報酬諮問委員会

取締役及び執行役員の報酬決定プロセスの透明性及び客観性を確保するため設置しております。

取締役会の諮問機関として、右記の事項について審議し、取締役会に助言・提言を行っております。

- ① 当社、伊藤ハム株式会社、米久株式会社(以下、本項目において当社グループという。)の取締役及び執行役員の報酬制度(基本報酬、業績報酬、譲渡制限付株式等)に関する事項
- ② 当社グループの取締役及び執行役員の業績連動(経営指標、目標値、変動幅等)に関する事項
- ③ 当社グループの取締役及び執行役員の報酬水準(競合他社との比較)に関する事項

ガバナンス委員会

取締役会の実効性を高めることにより、コーポレート・ガバナンス体制とその運用を強化することに資するため設置しております。
取締役会の諮問機関として、取締役会の実効性評価について審議し、取締役会に対して助言・提言を行っております。

指名諮問委員会 報酬諮問委員会 ガバナンス委員会の構成

		出席状況(2019年度)		
		指名諮問委員会	報酬諮問委員会	ガバナンス委員会
委員長(議長)	小川 広通 取締役会長	2回/2回(100%)	1回/1回(100%)	2回/2回(100%)
委員	市毛 由美子 独立社外取締役	2回/2回(100%)	1回/1回(100%)	2回/2回(100%)
委員	伊藤 綾 独立社外取締役	2回/2回(100%)	1回/1回(100%)	2回/2回(100%)

グループ経営会議

取締役会に次ぐ審議・討議機関として設置しております。

社外取締役を除く取締役、常勤監査役その他グループ経営会議の議長が指名する者から構成されております。

月2回の定例のほか、必要に応じて適時に開催しており、当社グループの経営戦略及び重要事案に関する報告・審議・検討を行っております。

監査役会

毎月定期的で開催され、監査に関する重要事項の決定のほか、監査実施状況の報告、意見交換などを行っております。

監査役は、取締役会や社内の重要会議に出席するほか、取締役及び使用人から業務執行について直接聴取を実施するなど、十分な監査を行っております。また、会計監査人からも監査計画及び結果について、適宜報告を受け、意見交換をするなど緊密な連携のもと監査を進めております。

独立社外役員会議

独立役員4名で構成され、定期的で開催されております。

当社の経営戦略、経営課題、取締役会の議題をはじめとした様々な意見交換が行われております。

強固な組織基盤

役員報酬

取締役（社外取締役を除く）の報酬は、基本報酬と業績連動報酬で構成されており、業績連動報酬については、短期業績に基づく業績連動賞与と中長期業績に基づく株式報酬（譲渡制限付株式）により構成されております。

報酬構成割合や個別の報酬水準とその算定・支給方法等は、独立性を有する社外取締役が過半数を占める報酬諮問委員会での審議を経て、取締役会にて決定しております。

取締役会実効性評価

当社は、当社取締役会が当初設計されたよう正常に機能しているかについて自己評価し、今後の改善につなげていくことを目的に、2019年10月に全取締役と全監査役を対象に自己評価アンケートを実施し、その結果について当社のガバナンス委員会と取締役会にて議論を重ね当社取締役会の実効性評価を行いました。

アンケートについては、取締役会の構成・運営、取締役の経営陣の監督とリスク管理、経営陣の選任、株主との対話に関する事項などについて行い、2018年に実施した実効性評価からの改善が進み、取締役会の実効性は概ね確保されていると判断いたしました。

今後は今回の評価結果を踏まえ、継続的に取締役会の実効性向上に努めてまいります。

リスクマネジメント

リスクマネジメント体制

経営企画室、監査室及び危機管理室は、密接に連携することでリスク顕在化の未然防止、発生時の迅速な対応と損害のミニマイズにあたるとともに、リスクマネジメントにおける知見の蓄積を担っております。

事業等のリスク

業績、株価及び財務状況等に影響を及ぼす可能性のあるリスクを、発生可能性と影響度を勘案のうえ、以下のとおり認識し、影響を最小化する仕組みの構築を図っております。

しかしながら、これらはすべてのリスクを網羅したものではなく、現時点では予見できない、若しくは重要とみなしていないリスクの影響を将来的に受ける可能性や、対策の不足による損害が発生する可能性があります。

なお、詳細につきましては、有価証券報告書をご覧ください。

 https://www.itoham-yonekyu-holdings.com/ir/securities_report.html

リスクの分類	小分類	
市況変動	<ul style="list-style-type: none">畜産物相場の想定を超える変動セーフガードの発動食糧需給の逼迫調達コストの大幅な上昇	<ul style="list-style-type: none">労働力単価の上昇副原料・包装資材のコスト上昇電力、物流費等のコスト上昇飼料価格の大幅な上昇
食品の安全性	<ul style="list-style-type: none">消費者への健康被害	
感染症、疫病等	<ul style="list-style-type: none">感染症の拡大	
家畜の疾病	<ul style="list-style-type: none">家畜の疾病の拡大	
災害・紛争等による事業継続	<ul style="list-style-type: none">地震その他の自然災害、戦争、紛争、テロ等の発生	
国内外の公的・法的規制の変化、権利侵害	<ul style="list-style-type: none">予期しない法的規制	<ul style="list-style-type: none">権利侵害・被侵害の防止の遅れ・不能

リスクの分類	小分類
金融市場の変化	●為替変動 ●金利上昇
事業投資・設備投資	●固定資産・のれんの減損処理
物流・流通	●物流の増加、ドライバー不足、インフラ不足等による適正なサプライチェーンの構築不備
人材確保	●若年労働者の確保不足 ●想定外の人材流出 ●人材育成の遅れ
コンプライアンス	●法令違反を含む重大なコンプライアンス上の問題の発生
内部統制システムの整備・運用	●内部統制システムの機能不備
環境への対応	●環境規制
情報セキュリティ	●地震その他の自然災害、サイバーテロ、システムの欠陥・障害、新種のコンピュータウイルス感染、不正アクセス等による情報漏えい・消失、システムの不具合
SNS上の風評被害	

コンプライアンス

基本的な考え方

コンプライアンスの基本方針を決定し、これを実行する体制、会議体、規程を構築・整備し、教育・研修などを通じて周知徹底を図っています。

各種規程を整備

コンプライアンスに関わる規程・規範を整備し、社内ルール of 明確化とその周知を図っています。

企業倫理規範	遵守すべき判断基準を具体化した、携帯用コンプライアンスハンドブック「企業倫理規範」を全従業員に配布しています。
コンプライアンス推進規程	当社グループのコンプライアンスの定義、会議体及びコンプライアンスの実践や推進体制などについて定めています。
ハラスメント防止規程	ハラスメント全般における従業員の禁止行為や遵守すべきこと、発生した場合の対応などについて定めています。
内部通報規程	通報・相談窓口の対応手順や関係者の保護などについて定めています。
個人情報取扱規程	個人情報の取得、保管、利用、廃棄のプロセスを定めています。

内部通報制度 (社内・社外相談窓口)

従業員の違法行為、社内ルール違反や社会良識からの逸脱に気付いた場合の対応として、まず、上司に報告をすることを基本としています。

しかし、それが難しく、職場の中で相談しづらい雰囲気や話を聞いてもらえないと感じた場合、その相談先として、「社内相談窓口 (伊藤ハム米久グループ)」「社外相談窓口 (社外弁護士)」を設置しています。

両窓口の周知として、相談窓口の動画配信やコンプライアンスカードを全従業員に配布し、相談者が迷うことなく、気兼ねなく相談できる体制構築に努めています。

また近年、職場での人間関係、コミュニケーションに関する相談が増えたことを受け、社内相談窓口の相談員は、社外研修で傾聴力を高めることに努め、さらに社内研修として、相談対応トレーニングを実施しています。

強固な組織基盤

安全・安心への取り組み

お客様

品質保証体制

伊藤ハム米久グループでは、お客様に安全・安心な商品やサービスを提供するために、自社での原材料から製造、加工、流通、販売までのフードチェーンの各ポイント、並びに社外調達先も含めて法令はもちろんのこと、伊藤ハム米久グループ独自の基準に適合しているかどうかの点検、監査を実施しています。これらの活動及び、日常のコミュニケーションを通じた助言や情報提供により、各施設の品質管理レベルの向上に努めています。

分かりやすい表示への取り組み

食品表示は、お客様にとって非常に重要な情報です。お客様に安心して商品を選んでいただけるよう、関連する法令はもちろん、伊藤ハム米久グループ独自の表示基準を設け、お客様に分かりやすい表示づくりに取り組んでいます。また、食品表示法や景品表示法に関わる社内勉強会を開催し、従業員の知識向上に取り組んでいます。

品質向上への取り組み

お客様からいただいた貴重なご意見を商品に反映するため、定期的に生産部門や営業・商品企画部門、品質管理部門がミーティングを開催し、商品の改善に取り組んでいます。

また、品質関連の勉強会を開催し、従業員の知識や意識の向上を図り、安定した品質の商品供給に努めています。

お客様満足を目指して

お客様に喜んでいただける商品・サービスの提供を目指し、お客様とのコミュニケーションを大切にしています。

商品の特徴、食べ方、調理法、商品の保存に関すること、商品の栄養成分やアレルギー物質に関することなど、日々さまざまな質問がお客様相談室に寄せられます。お寄せいただいたご質問・ご意見を大切な資産として受け止め、真摯に耳を傾けるとともに分かりやすい情報提供を心がけています。

お客様の声を大切にしています

傾聴

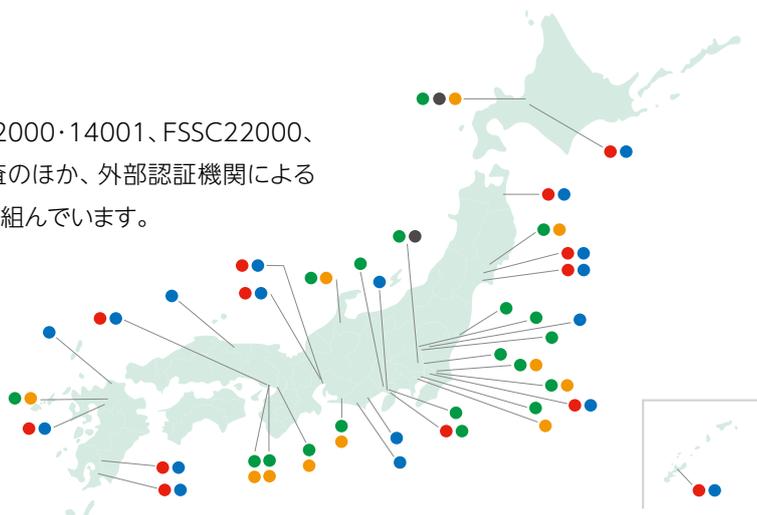
共有

お客様からどのような声をいただいているか、お客様対応のプロフェッショナルとしてどのように対応すべきかなど、情報を共有するとともに、「誠実かつ迅速な対応」を念頭に、お客様にいつも「安心」を感じていただける商品づくり・サービスの向上に努めています。また、お客様相談室内で、商品・サービスの改善が必要と思われるお客様の声を抽出・検討し、お客様の声会議にて社内共有し、商品の改善や開発につなげています。

外部機関による評価

伊藤ハム米久グループの生産施設では、HACCP、ISO22000・14001、FSSC22000、エコアクション21の外部認証を取得しています。社内監査のほか、外部認証機関によるマネジメントシステム検証などを通じて、さらなる改善に取り組んでいます。

● ISO14001 認証取得事業所	13 拠点
● ISO22000 認証取得事業所	18 拠点
● FSSC22000 認証取得事業所	19 拠点
● HACCP 認証取得事業所	2 拠点
● エコアクション21 認証取得事業所	11 拠点



環境に配慮した「豚と畜・カットライン」を導入

当社グループの連結子会社であり、食肉事業の中核を担うサンキョーミート株式会社は、と畜場の経営・食肉及び食肉加工品の製造・販売を行っています。2019年4月より、環境に配慮した「豚と畜・カットライン」を導入しています。

EUから最新鋭の設備を輸入し、品質・生産性の向上だけでなく、水使用量を以前の設備と比較して豚1頭当たり約4割削減し、環境負荷低減を図っています。

また、当社グループでは、農林水産省が、国際獣疫事務局(OIE)が示した指針を踏まえ、畜種ごとに作成した「アニマルウェルフェアの考え方に対応した飼養管理指針」等に則り取り組んでいます。その一環として南九州で展開をしている牛、豚の協力農場では「農場HACCP」の認証取得に加えて「JGAP※」の認証を取得するよう取り組んでおります。

※ JGAP(家畜・畜産物): 食品安全をはじめ、家畜の健康(家畜衛生)や快適な飼料環境への配慮(アニマルウェルフェア)、労働者の安全対策、環境保全など全部で113にも及ぶ項目があります。

サプライチェーンマネジメント

取引先

農場での取り組み

良好な信頼関係にある国内の協力農場では、品種をはじめ、飼料や肥育方法などにこだわり、牛・豚・鶏が衛生的な環境で健康に育つよう飼育しています。農場で使用される薬剤は、その薬剤ごとに定められた休薬期間を守り、記録の管理をしています。

海外での取り組み

日本より現地の生産施設を適宜訪問し、商品規格や生産体制などが現地の法令を守り、当社グループと合意した事項が実施されているかどうかを確認しています。

また海外駐在員が駐在国にある生産施設のほか、主要生産国の生産施設を訪問し、迅速な対応ができるようコミュニケーションを深め信頼関係を構築しています。日本で商品に不具合が判明した場合は、現地に速やかにフィードバックし、改善を要請し、改善されたことの確認をしています。医薬品等の残留検査は、通関時の行政のモニタリング検査のほか、日本国内の検査機関で検査をしています。

社外協力工場の品質管理

当社グループはお客様のさまざまな商品ニーズにお応えするため、食肉製品をはじめ乳製品や麺類、ドレッシング等の商品を国内及び海外の協力工場から調達しています。このような調達商品においても自社生産の商品と同様、社外協力工場と協働して品質管理を徹底し、安全・安心な商品をお客様にご提供しています。

社外協力工場商品担当の品質管理部門では、商品の設計が生産するうえで問題のない規格になっているか、また製品の表示や製造工程に問題がないかなど、社内規程に従い、厳しくチェックをしています。また協力工場へは、当社グループの品質管理基準に基づいて定期的に工場監査・点検を実施しています。健康危害の防止・法令違反の防止などの観点から、アレルギー管理、危険異物混入防止、日付を含む表示の管理、商品トレーサビリティなどのダブルチェックを重点的に行っています。海外の工場においては、駐在員を配置または指導員を派遣するなど、品質管理を徹底しています。

さらに品質保証部門による定期的なチェックも行っています。

在宅勤務制度について

育児や介護により場所と時間に制限のある社員が、職場に貢献する人材であり続けるために、自宅で勤務することで時間を最大限に活用しながら能力を発揮し、やりがいを感じながら柔軟にキャリアを積み上げていくための制度です。

2020年度は既存の制度の役割に加え、新型コロナウイルス感染症対策の一環としての役割も拡充させ、在宅勤務が可能な業務に関してはこれを推奨し、制度利用を広げる中で、業務のさらなる効率化に取り組んでいます。

■ 在宅勤務制度利用実績

2018年度	2019年度	2020年度 9月末時点
12名	13名	2,249名

社外取締役を交えた管理職の懇談会を開催しました

市毛由美子社外取締役、伊藤綾社外取締役を交え、伊藤ハムと米久の女性管理職の懇談会を開催いたしました。和やかな雰囲気の中、市毛社外取締役から「ダイバーシティ経営の観点からの女性の活躍推進について」のプレゼンテーション



市毛由美子社外取締役（前列右から2番目）、伊藤綾社外取締役（同3番目）を囲んで

が行われました。また、管理職の楽しさや難しさ、プライベートと仕事の両立など、さまざまな意見交換も行いました。

参加者コメント

- 社外取締役と、共通の悩みや想いを持つ同志との交流を経ることで、とても貴重で充実した時間を過ごすことができました。多くの女性課長や係長にも参加してほしいと思う懇談会でした。
- 社外取締役のアドバイスで特に印象的だったのは、「今は徐々に女性が活躍する土壌が整ってきている。自分の能力を過小評価せずに、目の前に来たものはチャンスと思ってひるまずにキャッチするようにしてほしい。」という言葉でした。参加者全員がお互いに頑張ろうというポジティブな気持ちになり、大変有意義な時間でした。

社員育成担当者への支援研修を行いました

新入社員1名に対して育成の中心的役割を担う育成担当者を選任し、職場で計画的・重点的・継続的に育成指導を行っていく、メンター制度（伊藤ハム）・ブラザーシスター制度（米久）を導入しています。2019年は、それぞれの制度を担うメンバーの合同研修を開催しました。また、新入社員が配属される部署の所属長を対象に、部下の育成責任者として、上司の役割を理解するため「上司支援ワークショップ」も開催しました。



新入社員が経験から学んで成長するための「問いかけ」を実践して学ぶワーク



相手にとって分かりやすい指示の出し方を実践して学ぶワーク

研修参加者コメント



姑射 誠佳（研究職）

業務や立場も違うさまざまなメンターと苦手な指導や悩みについて打ち明けあい、解決へ導く議論が印象的でした。悩みを共有することで肩の荷が軽くなりましたし、自分の弱点を克服できる貴重な機会でした。また講師の方からはメンティーの志向に合わせた指導方法や、やる気の引き出し方を助言いただき指導の幅が広がりました。



鈴木 明里（営業職）

私は、入社3年目でシスターとなり、漠然とした不安を抱えていましたが、研修のおかげで、後輩への思いやりの気持ちが芽生えました。シスターを終えた今でも、相談を受けた時は手を止めて話を聞き、悩んでいる時は声を掛けるなど、良好な関係を維持できていると感じます。後輩の成長を感じた時は、とても嬉しい瞬間です。

手づくりウインナー実習を実施しました

伊藤ハム豊橋工場では、近隣の高校生を対象に社会貢献活動の一環として、手づくりウインナー実習を実施しました。ウインナーの材料や香辛料の種類等についての説明、充填・調理実習を通して生徒の研究につなげるとともに、伊藤ハムの沿革・事業内容の説明や、製品試食を行いました。



ウインナーの製造過程の説明



チームに分かれてウインナーの充填を行う

職業講話を実施しています

米久では、毎年、沼津市内小中学校の児童・生徒を対象に、男女の平等意識や人権を尊重することの大切さを学ぶとともに、性別にかかわらず一人ひとりがその個性と能力を伸ばし、将来の夢や進路について幅広く選択できるよう学習の機会を提供しています。子どもの頃から男女共同参画意識を浸透させることを目的に実施しており、米久は沼津市の男女共同参画推進事業所として毎年参加しています。



職業講話の様子

富士山保全活動を実施しています

米久は、富士山の麓である静岡県沼津市に本社を置く企業として、2009年より、富士山の世界文化遺産登録を支援する目的で「富士山基金」への寄付を現在も実施しています。

※ 富士山基金とは
世界遺産「富士山」を美しい状態で未来に引き継ぐため、「認定NPO法人 富士山世界遺産国民会議」などが運営しています。この基金は、富士山の環境保全・保護活動、訪問者への案内・啓発活動などに使用されています。



神戸市との包括連携協定

伊藤ハムは、2013年から兵庫県神戸市と包括連携協定を締結しています。神戸市灘区が本店所在地であることに加え、「神戸の皆様へ貢献したい」との思いから始まりました。



六甲山自然環境保全活動

2002年に緑化100周年を迎えた六甲山系で、次の100年の森林保全と育成を目指して神戸市が進める「六甲山これからの百年の森づくり」。この森づくりを市民の手で行っている「こうべ森の学校」に対し、「神戸」シリーズの売上の一部を寄付したり、社員ボランティアを派遣するなどして支援しています。



KOBE スペシャルPR パートナー・情報発信

お中元・お歳暮などの贈り物として高い評価をいただいている「神戸」シリーズが、「KOBE スペシャルPR パートナー」に認定されました。お中元・お歳暮ギフトに、六甲山の自然環境保全活動の取り組みや六甲山・摩耶山の魅力を掲載した「しおり」を封入し、全国に発信しています。

防災

災害発生時における食糧提供について、神戸市の要請に基づき、100,000パック(1日10,000パック×10日)のレトルト商品などを速やかに供給できる体制を整備しています。



環境保全活動の効果を高め、持続可能な社会の構築に貢献していくために、主要な生産拠点において、環境マネジメントシステムを構築・運用し、環境保全活動を推進しています。

伊藤ハム米久グループの環境理念・行動指針

環境理念

私たちは地球環境の保全が全世界共通の最重要課題のひとつであることを認識し、事業活動を通じて地球環境に配慮し、持続可能な社会を実現するために積極的に行動してまいります。

環境行動指針

伊藤ハム米久グループは、伊藤ハム米久グループ理念及び伊藤ハム米久グループ環境理念を実現するために、以下の環境行動指針に従って事業活動を展開します。

1. 法令遵守

国内外の環境関連法・規制・条例・協定を遵守し、自主管理基準を定め環境保全活動に努めます。

2. 環境負荷の低減

省エネルギー、省資源、及び廃棄物・温暖化物質・オゾン層破壊物質の排出削減を図るとともに、廃棄物の資源リサイクルを推進し、循環型社会形成の対応と地球環境負荷低減に努めます。

3. 生物多様性の保全

森林や河川などの自然環境保護活動を推進し、生物多様性の保全に努めます。

4. 環境保全活動の継続的改善

環境に及ぼす影響を考慮し、環境目標を定め、定期的な見直しによる環境保全の継続的改善を図ります。

5. 自主管理の徹底

外部・内部監査を定期的実施し、自主管理の徹底を図ります。

6. 環境教育及び意識醸成

社内外の環境教育及び社内広報活動を通じて、従業員に伊藤ハム米久グループ環境方針の理解と環境保全意識の向上を図ります。

7. 社会との共生

社会との対話、環境保全活動への参画により、社会との共生を図ります。

8. 環境情報の開示

伊藤ハム米久グループの環境に関する情報を適切に開示します。

環境監査・訓練の実施

環境汚染や環境事故を防止し、環境保全活動のさらなるレベルアップを図るために、事業所ごとに環境監査を実施しています。また、監査室が、年度の計画に基づく主要事業所に対する内部監査において、環境に関する監査も実施しています。環境関連法や、環境保全協定などで定められた規制値を守るとともに、指摘事項には迅速に対処し是正を図ることで、法令の遵守を徹底しています。

また、緊急時の対応策として、汚水や重油、薬品の漏えいなど、環境汚染を引き起こすような突発的な事故を想定し、その影響の拡散を防ぎ、汚染を最小限にするとともに、早期に修復するため、定期的に訓練を実施しています。

万一事故が発生したときには、社内間の連絡と必要に応じて行政機関や地域住民への連絡を円滑に行うように規程を定め運用しています。



監査室による環境監査



工業用水処理設備異常の訓練

環境負荷低減の取り組み

環境

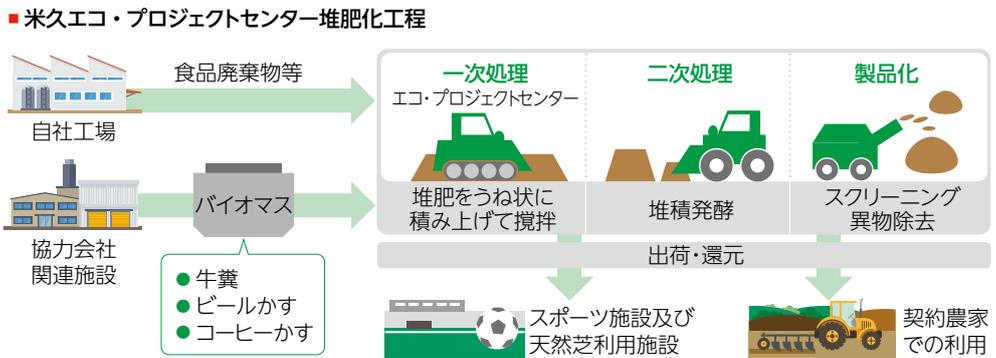
環境配慮製品（製品包材など）

伊藤ハム米久グループでは、包装容器等の改善により、食品ロス削減やCO₂排出量削減等、環境に配慮した製品開発に取り組んでいます。

	<p>「レンジでござそうシリーズ」 Itoham バリア性の高いフィルムを採用し、中身の酸化防止を図り、常温で3カ月の賞味期限を設定することで、食品ロス削減に対応。</p>		<p>「ラ・ピッツァシリーズ」 Itoham 「ピザガーデンシリーズ」 紙トレイに再生紙を使用。また、リサイクル可能な食品向け段ボールとなっており、エコ資材活用に対応。</p>		<p>「肉めしシリーズ」 Itoham 包装形態簡素化により包材使用量を軽減しCO₂排出量削減に対応。</p>
	<p>「朝のフレッシュ® ロースハム、ももハム、ハーフベーコン」 Itoham 植物由来の樹脂を包装フィルムの一部に使用しCO₂排出量削減に対応。また、使い切りサイズの連結ラベルタイプとしたことで、食べ残しによる食品ロス削減に対応。</p>		<p>「チキンナゲット300g (ジッパー付)」 Itoham 再封可能なジッパーを採用することで開封後の食感や品質の低下を抑制。最後まで使い切ることができることで食べ残しによる食品ロス削減に対応。</p>		

食品廃棄物のリサイクル

米久エコ・プロジェクトセンターでは、自社工場や協力会社から排出される食品廃棄物をリサイクルし、良質な肥料を年間約500t生産しています。作られた肥料はさまざまな用途で使用され、環境負荷低減に貢献しています。



太陽光発電設備を導入

伊藤ハム米久グループでは、環境活動の取り組みの一環として、太陽光発電設備を設置しています。伊藤ハム西宮工場では、地域の方々が環境問題を考えるきっかけとなることを願い、JR神戸線沿いの見通しの良い工場屋上南側に太陽光パネルを設置し、米久本社物流センターでは、発電した電力全量を電気事業者に売電しています。これからも施設の有効活用を図るとともに、自然環境に配慮した再生可能エネルギーの普及に努めていきます。



生物多様性保全・環境コミュニケーション（環境教育）

環境

富士山麓の森林保護活動、「こうべ森の学校」の森林ボランティア活動、千本浜海岸清掃等の環境保全活動や、地域貢献の一環として、ボランティア活動などを行っています。

